

# Belle époque

〈主な演奏曲〉

C.ドビュッシー

亜麻色の髪の乙女

La Fille aux Cheveux de Lin

E.ショーソン

詩曲

Poème Op.25

G.フォーレ

夢のあとに

Après un Rêve Op.7-1

シシリエンヌ

Sicilienne Op.78

エレジー

Élégie Op.24

子守歌

Berceuse Op.16

ピアノ五重奏曲 第1番

Gabriel Fauré Piano Quintet Op.89

※当日変更になる場合もございます

## ベル エポック 巴里の 光彩と陰影

～G.フォーレ没後100年に寄せて～

2024.

# 11/16<sup>sat</sup>

時間／14:30開場 15:00開演

会場／今井館聖書講堂 (東京都文京区  
本駒込6-11-15)

《全席自由》一般／5,000円 高校生以下／2,500円

### Ensemble Lucis

ーアンサンブル・ルーキスー

Violin 小山 啓久 高橋 暁

Viola 甲斐 史子

Cello 阪田 宏彰

Piano 斎藤 美香

チケットのお求め、お問い合わせは、  
右 QR コードよりメール送信にて承ります



[ensemble.lucis@gmail.com](mailto:ensemble.lucis@gmail.com)

# Belle époque

## 巴里の光彩と陰影 ～G.フォーレ没後100年に寄せて～

G.フォーレの79年の生涯から産み出された作品群について思うのは、それは、決定的な解決に向かうことなく浮遊する旋律と和声か、それとも極めて清楚にして高雅な世界を醸成する精緻な書法か。

今回は1845年生まれの作曲者がその円熟期、まさにベル エポックの只中で書かれたピアノ五重奏曲第1番を軸に彼の遺した珠玉の小品、そして同時期の C.ドビュッシーと E.ショーンソンの作品を取り上げた。

願わくは美しい午後のひとときとならんことを。

小山啓



Violin  
小山 啓久  
Hirohisa Koyama

東京音楽大学を卒業後、モスクワにてE.グラーチ氏に、東京にてK.グントナー氏に師事する。  
2015年9月 タイ、バンコク市にてリサイタル、及びシーナカリンウィロート大学にてマスタークラスを行い好評を博す。同年10月 中国、国立西安音楽大学の招聘により同大学ホールにてリサイタルとマスタークラスを行う。2017年10月 青島広志氏の新作オペラ「サド侯爵夫人」(原作 三島由紀夫)の初演にコンサートマスターとして参加。2019年2月 とちぎ未来大使に就任する。現在、東京を拠点に国内外でのソロ・室内楽での活動、マスタークラスでの指導、コンクール審査等を務めている。  
東京21世紀管弦楽団コンサートマスター。宇都宮短大大学音楽科 講師。日本弦楽指導者協会 正会員。



Violin  
高橋 暁  
Akatsuki Takahashi

武蔵野音楽大学を首席で卒業。在学中ソリストオーディションにてソリストに選出される。フィンランドのクフモ音楽祭に参加し、室内楽の研鑽を積む。  
現在は様々なアーティストのコンサートやレコーディングのサポートや宝塚等の舞台関係の演奏を担当。2019年赤坂ACTシアターでの堤真一氏主演の舞台「良い子はみんな褒めがもらえる」公演にて舞台上オーケストラのコンサートマスターもつとめた。  
個人活動と並行してCHIDORI quartetのメンバーとして全国でライブ活動を行うと同時に、世界的トップダンサーの熊谷和徳氏の公演にサポート共演するなど、様々なジャンルのアーティスト公演、レコーディングにもカルテットで参加。



Viola  
甲斐 史子  
Fumiko Kai

桐朋学園音楽大学卒業。同大学研究科修了。  
江藤俊哉ヴァイオリンコンクール第1位入賞。現代音楽演奏コンクール(競奏V)第1位入賞。第12回朝日現代音楽賞受賞。2003年度青山パロックザール賞受賞。ドイツ・ダルムシュタットにて、クラニヒシュタイナー賞受賞。アンサンブル・ノマドメンバーとして、第2回佐治歌三賞受賞。  
オランダ「ガウデアムス」、ベネズエラ・フランス「フェスティバル・アテンボ」、イギリス「ハダース・フィールド」メキシコ「グアナファト音楽祭」等、国内外の音楽祭に出演。数々の初演、録音を行っている。ジパングレーベルより3枚のCDをリリース。コジマ録音よりリリース「アイヴス：ヴァイオリンとピアノのための4つのソナタ」が第75回文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞。  
神奈川県立弥栄高等学校、東京藝術大学(ソルフェージュ科)非常勤講師。



Violoncello  
阪田 宏彰  
Hiroaki Sakata

国立音楽大学卒。  
YAMATO String Quartet代表。  
松尾学術財団の奨学金を得て活動を開始。  
秋田県大曲市新人音楽祭にてグランプリ受賞。大阪国際室内楽コンクール入選。  
世界初録音の「山田耕筰 室内楽全集」の他、「弦楽四重奏のための日本民謡」や「YAMATO String Quartet vol.1-2」「YAMATO String Quartet LIVE」をリリース。  
Cello Ensemble 008代表。  
群馬交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、神奈川フィルハーモニー、山形交響楽団などの客演首席奏者を務めてきた。



Piano  
斎藤 美香  
Mika Saito

仙台市出身。桐朋学園大学音楽学部卒業、米国インディアナ大学に留学。  
1991年日本演奏家連盟新人演奏会で、仙台フィルハーモニーと共演。NHK-FMリサイタルに出演。現在は東京を本拠地とし、クラシックの枠を超えジャンルにとらわれない活動を展開中。編曲や演劇の楽曲制作なども手がける。2006～2011年、BSフジ「ミドリノドレミドリ」(うつみ宮土理司会の歌番組)のホームバンドのパンマスとしてレギュラー出演。故・江戸家猫八氏と「鳴きまねと音楽のコラボ」をCOP10開会式典、井の頭自然文化園など全国各地で共演。2019年「あの出来事」(新国立劇場・南果歩、小久保寿人主演)の演劇にピアノニスト役で演奏と出演。趣味の登山が高じて八ヶ岳「黒百合ヒュッテ」にて2013年より毎年夏と秋に山小屋コンサートを主催している。2022年に自身初となるソロアルバム「森の情景」をリリース。NPO法人JADET 日本演劇情動療法協会理事。合気道式段取得。



Ensemble Lucis

